

1901

7

祝日

八月十一日 祝日

山の日と書いてある

いつ きたつたのか

海の日もある

知るやいふうちに祝日がある

海の日とやら 五人があつた

山も何かあつたりして 寂寂たる時

ふじ山への歩み

学校かうの遠足だつた

子猫のころは 小学校の植庭が砂はきつた

ど 山さそ具をひうっていらした

見あげると草あつた 萩原も 学校の

度下つた

切りか 雑木屋に 不平を かいそ にか びの

換算下 にか した

十八才のころ 友達と 平ヤニヤの 経験が

一度の 身も とて 楽しい日だつた

川と 湖の水で こけを ぬいて かくれんぼ

たべた

それ以来 山にも 海へも 行く こと はない

仕事を して いらして 海山へ 行く ことも ない

年をとるとなると

年令に関係なく

その日は工場の日としての休日

東爆の日か どうしてか、いのであろう

八月六日 九日

原子爆弾 どれだけの人が

今も苦しんでいる

それって何よ という人の多いこと

ふゆりの人たまたま

きつとあつと

レベル

決して優ってけらるる

人々の破壊だ とあか、祝日大層しい

2023
8/1